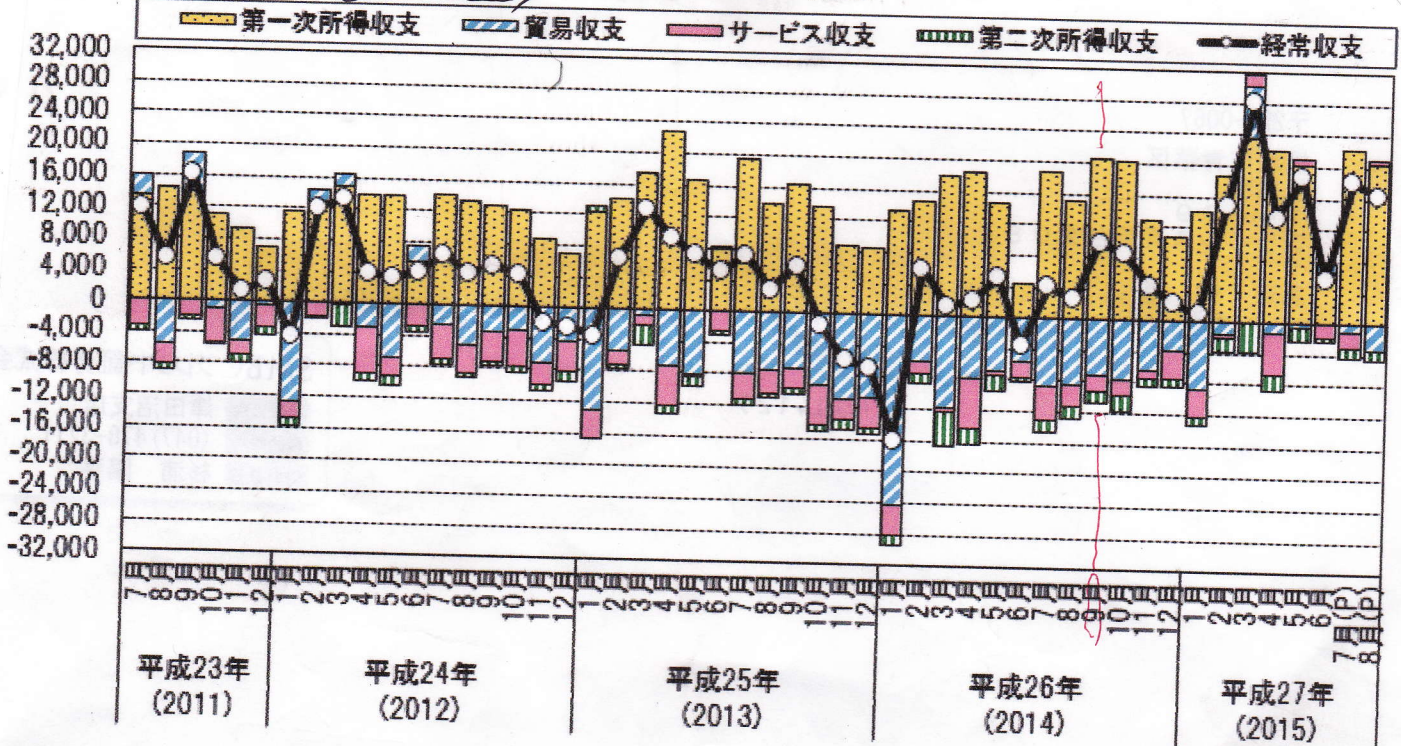


(単位:億円)

第17回

経常収支の推移



(備考)Pは速報値をあらわす。

【財務省国際局為替市場課】

第18回 国際収支 (2015年8月)

8月の経常収支

▽経常収支	16,531	(6.6倍)
貿易・サービス収支	▲2,683	
貿易収支	▲3,261	
輸出	58,579	(3.6)
輸入	61,841	(▲4.9)
サービス収支	578	
旅行収支	782	
知的財産権等使用料	3,314	
第1次所得収支	20,518	
第2次所得収支	▲1,305	
▽資本移転等収支	▲101	
▽金融収支	19,384	
▽誤差脱漏	2,955	

経常黒字8月 1.6兆円 14カ月連続 原油安で輸入減る

2015/10/8 付 日経夕刊

財務省が8日発表した8月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスの取引状況を表す経常収支は1兆6531億円の黒字だった。黒字は14カ月連続で、黒字幅は前年同月から1兆4037億円拡大した。輸出が増える一方、原油安で輸入が減り貿易赤字が縮んだ。企業が海外から受け取る配当や特許の使用料が増えたことも寄与した。

経常黒字は1.8兆円だった7月に続き1兆円超の高い水準になった。

貿易赤字は3261億円で、前年同月より5265億円少ない。米国向けの自動車輸出などが好調で輸出額が2053億円増えた。円建ての原油価格が35.1%低下したため輸入額は3212億円減った。

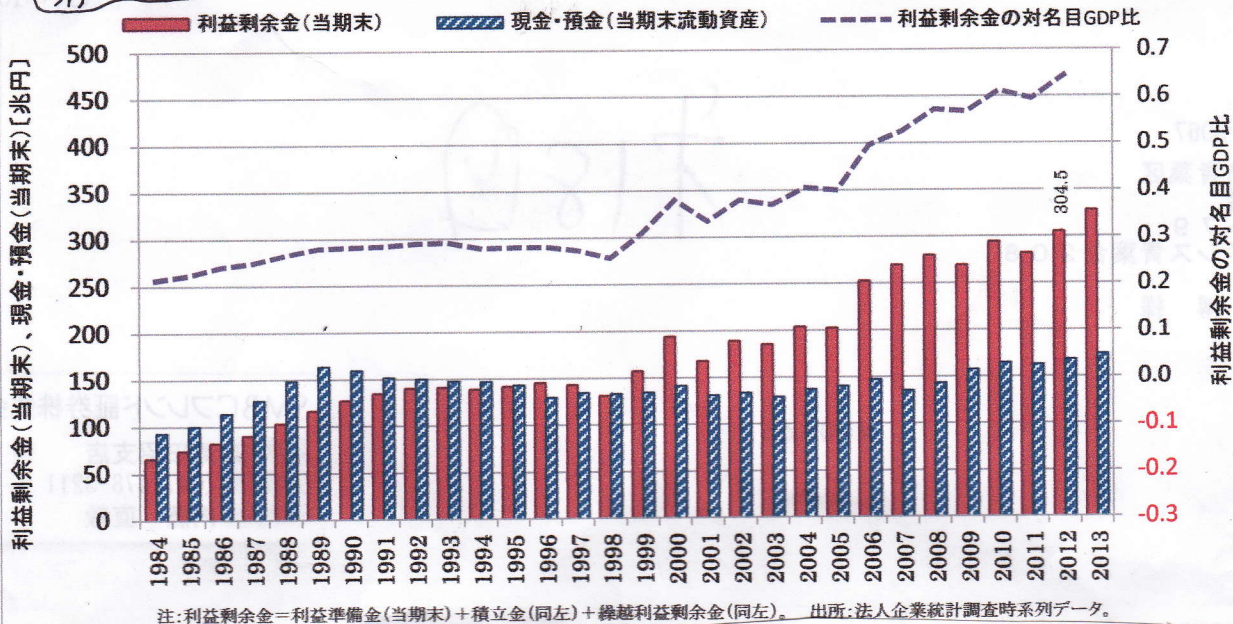
企業の海外投資からの収益を映す第1次所得収支は2兆518億円の黒字だった。黒字額は前年同月より5325億円増えており、8月の黒字額としては比較できる1985年以降で最も大きかった。

サービス収支は578億円の黒字で3カ月ぶりに黒字に転換した。医薬品や自動車で海外からの特許使用料の受け取りが増え、知的財産権等使用料は3314億円と比較可能な96年以降で8月としては最大だった。外国人観光客の増加で旅行収支も782億円の黒字になっている。///

第19回

利益剰余金(金融保険業を除く、全規模)の推移

8



利益剰余金_1984_2013法人企業統計,2014/10/2

第20回

2014年末現在本邦対外資産負債残高(財務省)

	資産		負債	
	2014年末残高	前年比	2014年末残高	前年比
直接投資	143,940	24,639	23,344	3,793
証券投資	410,056	48,803	285,228	33,219
金融派生商品	56,342	48,135	59,183	50,527
その他投資	183,854	8,460	210,661	18,923
外貨準備高	151,090	17,550		
資産合計	945,273	147,586	負債合計	578,416
			純資産合計	366,856
				106,462
				41,125

第21回

日本の対外純資産と経常収支等(単位10億円)

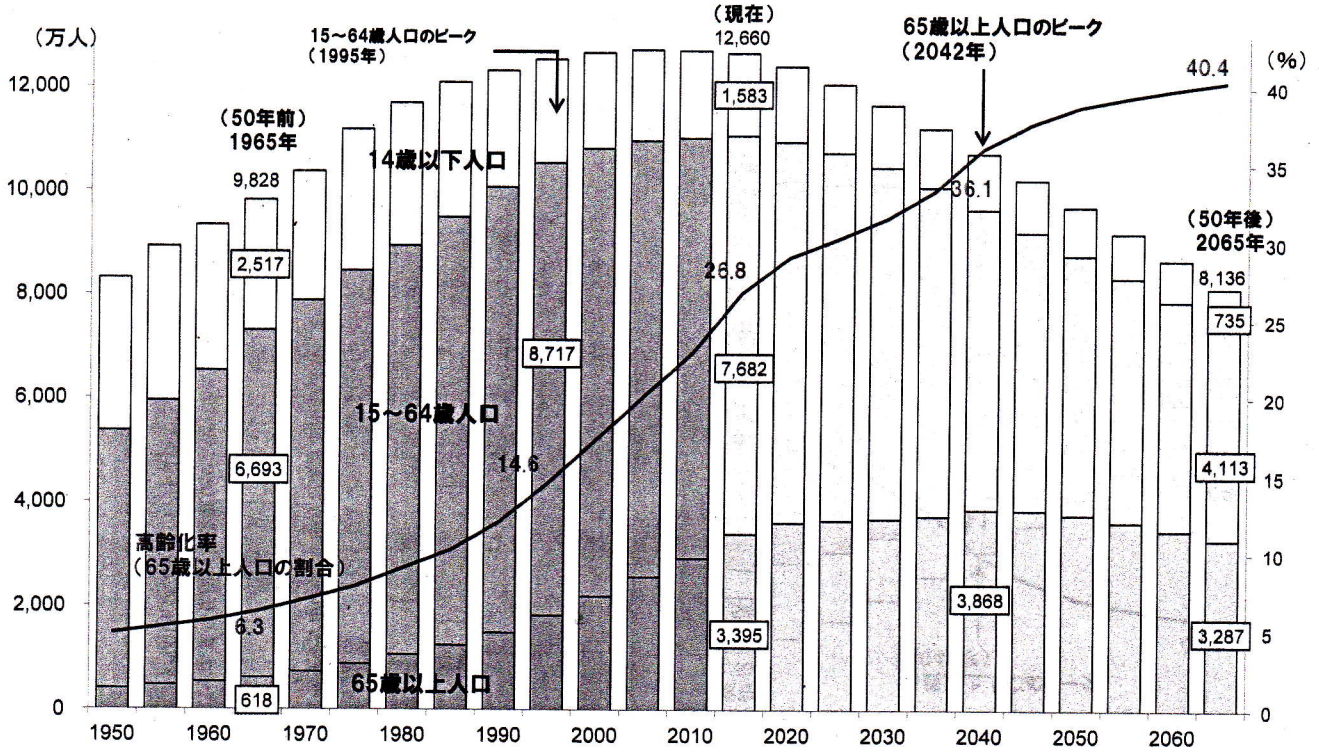
年末	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
対外純資産	84,735	133,047	179,257	175,308	172,818	185,797	180,699	215,081
経常収支	13,580	11,399	13,144	17,830	19,234	19,412	21,886	24,337
貿易収支	11,722	9,355	11,924	13,505	13,863	11,067	12,117	13,686
第一次所得収支	8,160	8,162	7,778	9,045	10,668	12,898	14,981	16,547

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	
250,221	225,908	268,246	255,906	265,426	296,315	366,856	年末 対外純資産
10,688	16,755	18,268	8,185	4,249	1,471	7,930	経常収支
2,668	8,025	8,033	-2,209	-5,247	-11,087	-6,565	貿易収支
12,905	12,986	13,926	14,308	14,482	17,382	19,179	第一次所得収支

第22回 家計金融資産 2015年6月末(兆円,%)

金融資産計	現金・預金	株式・出資金	債券	投資信託	保険・年金準備金	その他
1717	893	182	26	98	444	74
100.0	52.0	10.6	1.5	5.7	25.8	4.3

金融負債計



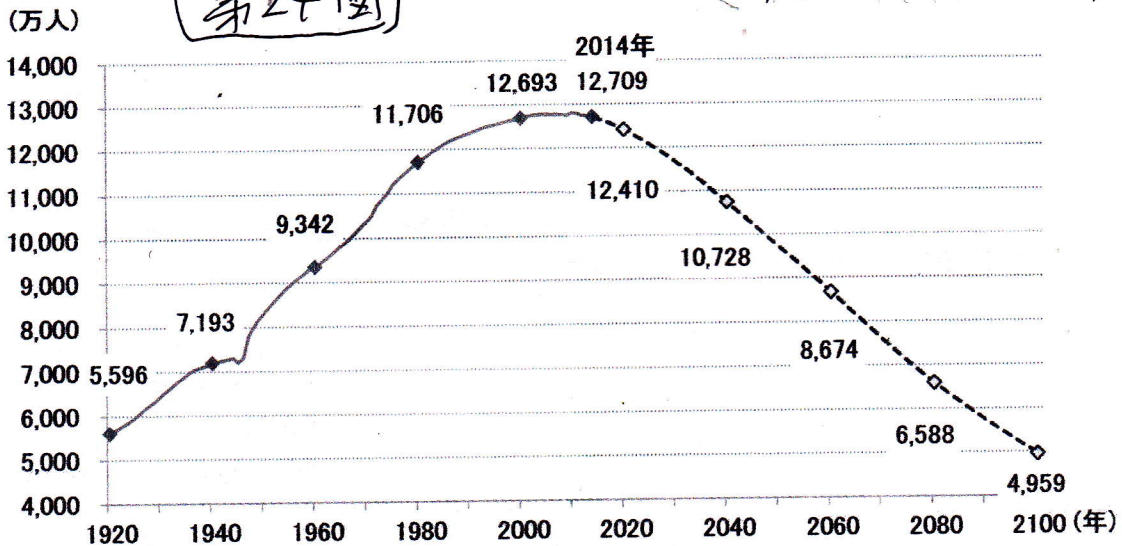
(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)、厚生労働省「人口動態統計」

日本の人口の推移

総務省統計局、国立社会保障・人口問題研究所

第24回

「平成24年1月推計」(中位推計)



(注)人口は各年の10月末時点。2014年以前は実績、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所の「平成24年1月推計」における、出生・死亡の中位推計の見通し。
(出所)総務省統計局、国立社会保障・人口問題研究所より野村證券投資情報部作成

・日本の人口は減少に向かう初期段階にある。日本の社会経済は、少子高齢化の問題に取り組む必要に迫られている。